



緊急災害対策派遣隊

# TEC-FORCE

Technical Emergency Control FORCE

被災地のいち早い復旧に向けて

## 自治体を支援

- 被災地の支援ニーズ把握と連絡調整を行います
- 被害状況の調査・報告を行います
- 災害対策用機材による復旧活動を行います



沖縄総合事務局

内閣府

# 被災した自治体への支援メニュー

## 1

### 被害状況の把握

2

1) リエゾンの派遣

2

2) 被害状況の調査・報告

3



## 2

### 災害対策機械による復旧活動

4

1) 排水ポンプ車

4

2) 照明車

4

3) 対策本部車

5

4) 応急組立橋

5



## 3

### 支援実績の紹介

6

1) 平成28年熊本地震での活動

6

2) 平成30年7月豪雨での活動

7

3) 令和元年台風第19号での活動

8



## 4

### 支援要請の流れ

9

1) 災害対策機械

9



## 5

### 問合せ先

# TEC-FORCE活動の概要

## Technical Emergency Control FORCE

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)は、台風や豪雨による風水害、地震、津波などの大規模自然災害が発生または発生の恐れが生じた際に、いち早く被災地へ出向き、被災自治体に技術的な支援をします。

TEC-FORCEの隊員は、災害対応の経験がある職員や、日頃から河川や道路などの社会資本の整備・管理業務を行っている職員など、専門技術を有する職員を主体に構成されています。

災害時には、連絡調整のパイプ役となるリエゾンを通じて、被災自治体と情報共有を図り、迅速な応急復旧等の支援を行います。また、二次災害の防止や早期復旧に向け、被災状況調査や災害対策機械による応急対策および技術的助言を行います。



# 1

## 被害状況の把握

### 1. リエゾンの派遣

リエゾンとは、災害が発生または発生する恐れがある場合に、被災情報の収集や自治体の支援ニーズを把握するために派遣される職員のことです。

リエゾンは被災自治体と沖縄総合事務局との連絡調整の役割を担い、円滑な情報共有を図ります。リエゾンを通じて、沖縄総合事務局が保有する災害対策資機材に関する情報の提供を行うなど、迅速な災害復旧活動の支援をします。



被災情報の収集



支援内容等の連絡調整



住民の支援ニーズの把握



自治体への情報提供

#### Column

#### 沖縄総合事務局からのリエゾン派遣

沖縄本島で暴風・豪雨による被害が発生した、平成26年の台風第19号では、沖縄県にリエゾンを派遣し、インフラ施設の被害状況や県道等の交通規制情報の把握などを行いました。また、令和元年の台風第9号では、宮古島市、石垣市にリエゾンを派遣し、自治体のニーズや、支援要請を確認するとともに、当局が取得した人工衛星による緊急観測情報などをリエゾンを通して情報提供しました。

# 1

# 被害状況の把握

## 2. 被害状況の調査・報告

### 1 現地調査

発災後、直ちに直接現地に入り、河川や道路、砂防などの被害状況調査を実施します。また、橋梁や危険渓流、土砂災害危険箇所等の安全性の確認も行います。



現地調査

### 2 防災ヘリコプターによる調査

離島が多い地域や、立ち入ることが難しい危険な現場では、防災ヘリコプターを活用し、上空から調査を実施します。



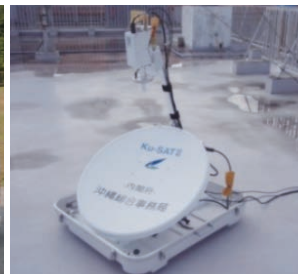
防災ヘリコプターとヘリコプターから撮影した映像

### 3 衛星通信車・Ku-sat

衛星通信車や衛星小型画像伝送装置(Ku-sat)を使用して、調査で得た映像などを、役場へ送信することで、リアルタイムで現場の様子を視聴できるようにします。



衛星通信車



衛星小型画像伝送装置

現場からの映像を受信



役場などで視聴可能



自治体の災害対策本部

#### Column

#### 沖縄総合事務局のヘリ出動

平成27年7月20日(日)、沖縄本島地方が豪雨に見舞われ、名護市や東村では、大規模な土砂崩れによる通行止めが発生しました。(左図)また、平成27年9月28日(月)、台風第21号の接近により、与那国町で停電や電柱の折れ曲がり、家屋の損壊などの被害が発生しました。(右図)

被災の状況を迅速に把握するため、防災ヘリコプターによる被災箇所の撮影を行い、沖縄県やマスコミなどに被災箇所の映像を提供しました。



一般国道331号東村平良地区



与那国町比川地区

# 2

## 災害対策機械による復旧活動

### 1. 排水ポンプ車

台風や集中豪雨に起因する河川の氾濫などで、冠水が発生した際に、排水ポンプ車により冠水地域から水を排水することができます。その排水能力は、30m<sup>3</sup>/分で、約10分で25mプールの水量を排水できます。



排水ポンプ車



排水の様子

### 2. 照明車

夜間や照明を必要とする作業の際には、照明車を用いて、現場を照らすことができます。照明装置は、地上からの高さが10mと、高い位置から広く照らすことができます。



照明車

#### Column

#### 排水ポンプ車・照明車の活躍

平成28年6月14日、糸満市摩文仁にて大雨による道路冠水及び通行止めが発生しました。排水ポンプ車を出動させ排水作業を行いました。被災の状況を



排水ポンプ車

迅速に把握するため、防災ヘリコプターによる被災箇所の撮影を行い、沖縄県やマスコミなどに被災箇所の映像を提供しました。

平成24年8月28日、国道58号大宜味村根路銘にて台風第15号による大雨で山側斜面の崩壊が発生しました。崩壊現場の監視を行うため



照明車

照明車3台を出動させ対応を行いました。

## 2

# 災害対策機械による復旧活動

## 3. 対策本部車

庁舎等が被災した場合には、会議用設備や情報収集設備などを備えた災害対策本部車により、災害対策本部機能を支援します。車体を拡幅することにより、広い作業スペースを確保することができます。



走行時(拡幅前)



対策室設置時(拡幅後)

## 4. 応急組立橋

台風などによる洪水・土砂災害や、地震による地割れ等で、道路や橋梁が使用できなくなった場合には、交通路や物資搬入のための輸送路を応急的に仮橋で確保することができます。長さは18m～50mまで調整が可能で、被災状況によりますが、最短3日で設置することができます。



設置イメージ



応急組立橋

### Column

### 沖縄総合事務局の防災活動

平常時においては、関係機関と連携した防災訓練や、災害対策用機械の操作訓練などを実施し、大規模災害時における初動対応の確認や関係機関との連絡体制の強化などに取り組んでいます。



対策本部車内で実施するWEB会議



沖縄総合事務局災害対策本部の様子

# 3

## 支援実績の紹介

### 1. 平成28年熊本地震での活動

平成28年4月14日、熊本県熊本地方を震源とする地震(最大震度7、マグニチュード6.5)が発生しました。16日にはさらに大規模な地震(最大震度7、マグニチュード7.3)も発生し、熊本県を中心に甚大な被害を受けました。

地震発生後、直ちに九州地方整備局は被災自治体にリエゾンを派遣しました。また、前震直後の15日には九州のほか、近畿、中国、四国地方整備局のTEC-FORCEが九州へ入り活動を開始、その後、全国の地方整備局等は7,000人を超える隊員を17市町村に派遣し、被災自治体の支援を実施しました。

沖縄総合事務局も、のべ138人の隊員を派遣しました。

**1** リエゾンが収集した被災状況・支援ニーズの情報をもとに、自治体所管施設の被害状況調査の代行を迅速に実施。航空写真による被害判読等とあわせ、激甚災害指定にかかる所要期間の短縮に貢献。



**2** 余震や降雨に伴う二次災害の発生を防ぐため、緊急度の高い1,155箇所の土砂災害危険箇所を9日間で点検し、4月28日に県知事、13市町村長等へ報告。



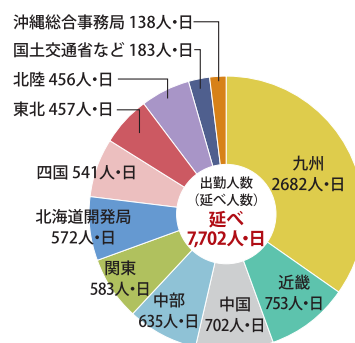
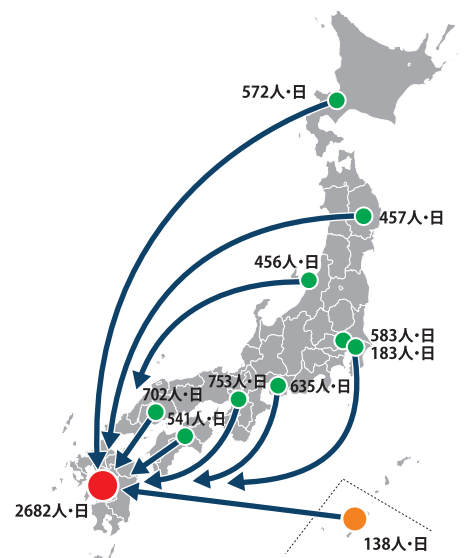
**3** 二次災害が懸念される箇所については、地方整備局が保有する無人バックホウによる土砂撤去を実施するなど、先端的な災害対策機器を駆使した活動を展開。



**4** 道路陥没や土砂崩落等によって通行不能となった箇所の応急復旧を行い、熊本市内から南阿蘇方面への輸送路の啓開を行い、支援物資等の輸送路確保や孤立地区の解消に貢献。



**5** 建築物の安全診断を支援。被災建築物の応急危険度判定を実施。6月4日までに、計18市町村の約5万8千軒の判定を完了。のべ6819人が対応。



**TEC-FORCE**  
延べ7,702人・日派遣  
(4月14日~5月23日)

**リエゾン**  
延べ2,223人・日派遣  
(4月14日~6月16日)

**災害対策機会**  
防災ヘリ、バックホウ、船  
(飲料水等提供)

#### 市長、町長からのコメント

〈御船町長〉 震災直後は被災情報が整理されていなかった。TEC-FORCE隊の方が入られてから、整理された情報として私のところまで情報が来るようになり、被災状況の全容が把握できた。

〈菊陽町長〉 調査して頂きありがとうございます。今後も引き続き再調査などを実施していただけるとありがたい。

#### 地元の方からのコメント

・このあたりはそこら中で地割れ等が発生しており、確認をお願いしたい。  
・沖縄から調査に来てくれてありがとう。地震はとても怖かった。色々な所で被害が出ているのでしっかり調査して欲しい。  
・応急危険度判定をしていただいで自宅の被災状況が分かり今後どうするか参考になりました。ありがとうございました。

# 3

## 支援実績の紹介

### 2. 平成30年7月豪雨での活動

前線や台風第7号の影響により、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、各地で河川の氾濫や土砂災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしました。

沖縄総合事務局は、四国地方にTEC-FORCEを派遣し、崩落した斜面や、道路・橋梁の被害状況の調査を支援しました。



派遣先担当者との打ち合わせ（四国地方整備局）



河川の増水により落橋した現場を調査（愛媛県大洲市）



大雨により崩落した斜面を調査（愛媛県西予市）



大雨により崩落した道路を調査（愛媛県西予市）



大雨により崩壊した斜面の調査（愛媛県 西予市）



市長への調査結果手交（西予市）

# 3

## 支援実績の紹介

### 3. 令和元年台風第19号での活動

令和元年10月12日、大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した台風第19号の接近・通過に伴い、東日本から北日本にかけた広い範囲で記録的な大雨となりました。記録的な大雨の影響により河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水被害が発生しました。

沖縄総合事務局は、福島県伊達市に被災状況調査班を派遣し、現地調査と調査結果の報告を行いました。



東北地方整備局 TEC-FORCE司令部と打合せ(東北地方整備局災害対策本部)



河川の被災箇所の調査(福島県伊達市 上手渡川)



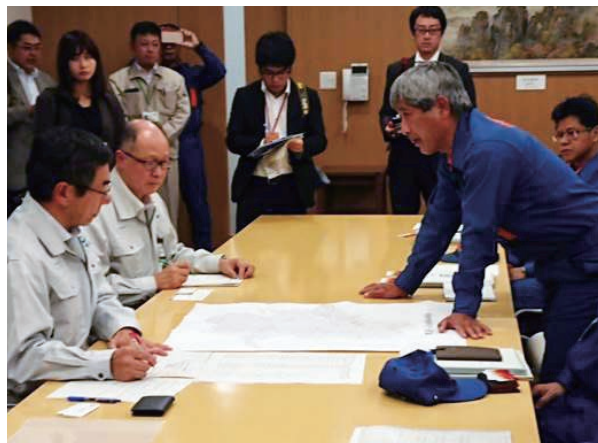
現地住民への聞き取り調査(福島県伊達市 古田川)



河川の被災状況調査状況(福島県伊達市 布川)



市担当者への調査結果説明(伊達市役所)



調査結果の報告(伊達市役所)

# 3

## 支援実績の紹介

### 4. 令和2年7月豪雨での活動

令和2年7月3日から9日にかけて、梅雨前線が停滞した影響により、九州地方を中心に記録的な大雨となりました。その後も前線は本州付近に停滞し、各地で河川の氾濫や土砂災害等が発生し、甚大な被害をもたらしました。

沖縄総合事務局は、被災した自治体を支援するため7月10日から8月3日までの期間、のべ120人・日のTEC-FORCE隊員を熊本県八代市及び相良村に派遣し、崩落した斜面や損壊した道路等の被害状況調査を支援しました。



情報共有会議の状況（九州地方整備局）



調査箇所の確認（九州地方整備局）



漂流物による道路封鎖状況（八代市）



崩落した斜面の調査状況（八代市）



損壊した道路の調査状況（相良村）



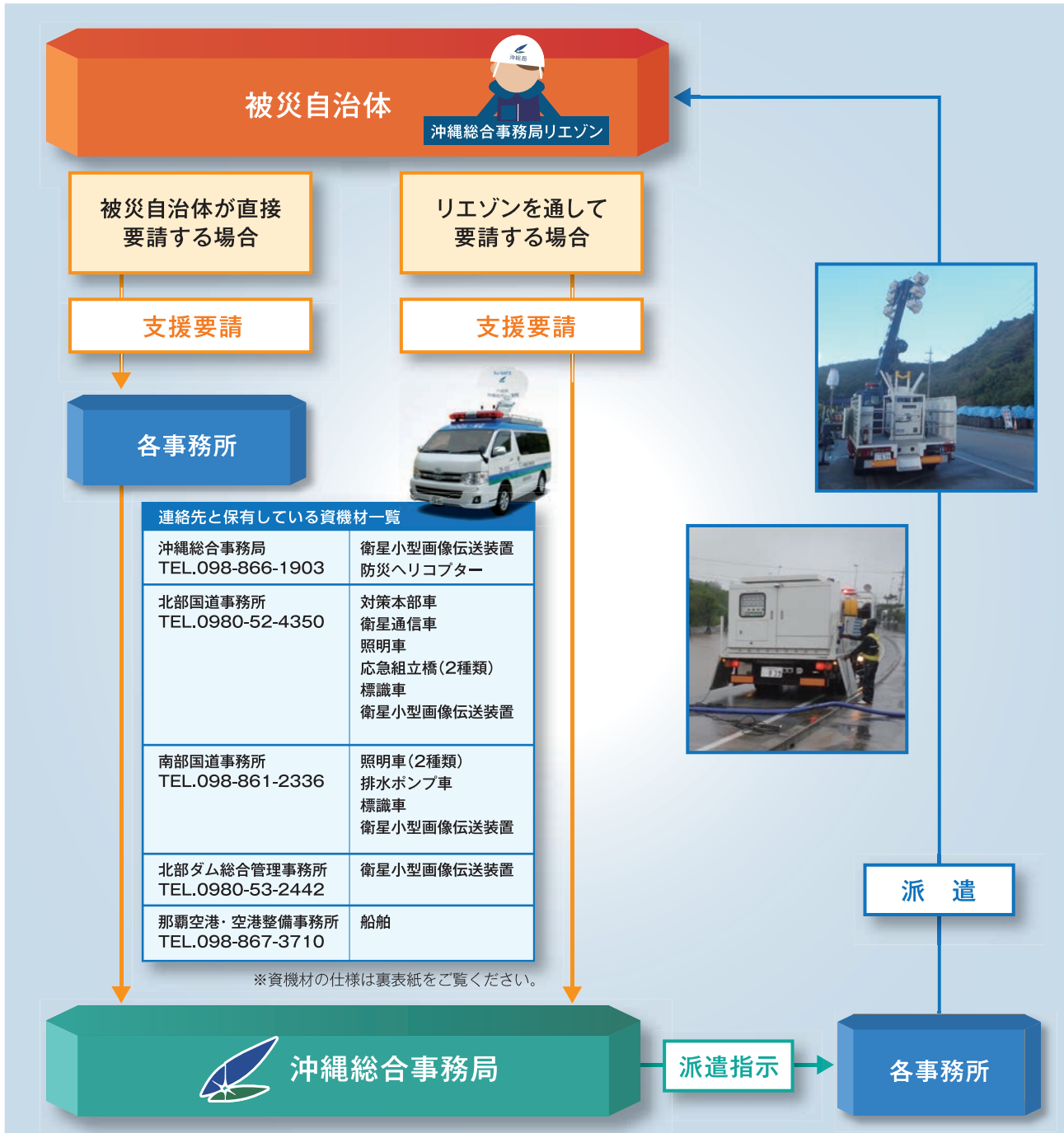
村長への調査結果報告（相良村）

# 4

## 支援要請の流れ

### 1. 災害対策機械

災害対策用機械を借りたい場合、以下の手順で要請することができます。



#### attention

災害対策機械を支援要請した場合にはお金がかかります。

災害時には、災害対策用機械の貸し出しは無償ですが、機械の稼働に伴う運転経費(人件費・燃料費等)は原則、要請した自治体が負担することになりますので注意してください。

## 沖縄県内の資機材保有状況

## 北部国道事務所

| TEL.0980-52-4350 |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 対策本部車            | 拡幅型                           |
| 衛星通信車            | ku-sat II 車載型                 |
| 照明車              | LED灯 10m級                     |
| 応急組立橋            | L=50m B活荷重<br>W=7.5m          |
| 応急組立橋            | L=30m T20 L14<br>W=6m+0.8(歩道) |
| 標識車              | LED標識装置付                      |
| 衛星小型画像伝送装置       | 1台                            |

沖縄県

## 北部ダム統合管理事務所

| TEL.0980-53-2442 |    |
|------------------|----|
| 衛星小型画像伝送装置       | 2台 |

## 南部国道事務所

| TEL.098-861-2336 |                                              |
|------------------|----------------------------------------------|
| 照明車              | 2kw×6灯 H=20m                                 |
| 照明車              | 2kw×6灯 H=10m                                 |
| 排水ポンプ車           | 30m/min(水中モータポンプ4台)<br>排水ホース200m(ポンプ1台当り50m) |
| 標識車              | LED標識装置付<br>Car-SAT搭載                        |
| 衛星小型画像伝送装置       | 1台                                           |

## 那覇港湾・空港整備事務所

| TEL.098-867-3710 |  |
|------------------|--|
| 船舶               |  |

## 沖縄総合事務局

| TEL.098-866-1903 |    |
|------------------|----|
| 衛星小型画像伝送装置       | 2台 |
| 防災ヘリコプター         |    |

本冊子の内容、その他、沖縄総合事務局に関する防災全般に関しましては  
下記までお問い合わせ下さい。



内閣府

沖縄総合事務局 開発建設部 防災課

TEL 098-866-1903(直通)

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館